

船舶産業の変革ロードマップの実施体制

2024年6月26日

国土交通省海事局

船舶産業の変革ロードマップの実施体制

(1) デジタル技術を活用した設計・建造の変革と事業者間の連携

Kプログラムによる研究開発



(2) 次世代船舶の供給体制の確立

新燃料関連機器の
標準化会議



新燃料の入手・取扱・
規制対応会議



※この他に、新燃料関連機器の製造・設備投資における事業者間の協調、分担、共同製造等を議論する場を検討する

(3) 人材の確保・育成

魅力向上・人材育成会議



(4) フォローアップ

本検討会における定期的なフォローアップ



(2) 次世代船舶の供給体制の確立

新燃料関連機器の標準化会議



役割

- Type-C燃料タンクのサイズ・仕様等について、業界共通に利用可能な標準を確立する
- Type-C燃料タンクを最初の検討対象とするが、船体設計の自由度やコストへの影響を考慮し、Type-C燃料タンク以外の標準化の対象品・対象範囲を検討する

座長

- 未定(中立的で知見を有する学識経験者がよいか、議論を主導する事業者がよいか)

構成員

- Type-C燃料タンクを製造している、又は製造する予定のある造船所及びタンク・鏡板製造メーカー
- 燃料供給システムやその関連部品を製造している、又は製造する予定のある造船所・舶用品メーカー
- 海運事業者

会議参加者

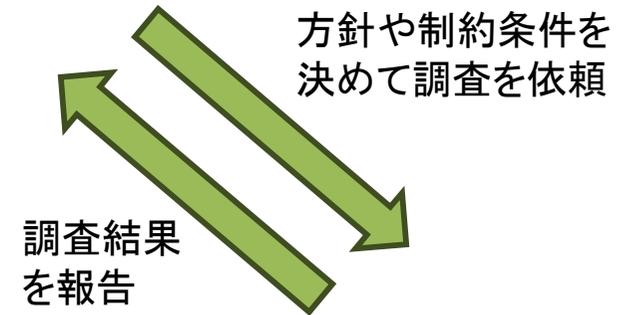
- Type-C燃料タンク等の標準の是非を判断可能な者

事務局

- 国土交通省海事局

スケジュール感

- 2024年夏以降に会議を開始し、1年後までを目途に一定の結論を出すことを目指す
- 時間を要する場合は延長を検討する



標準化に必要な調査



役割

- 関係者からのヒアリング
- 標準化の対象範囲と船体設計の自由度のトレードオフの検証、コストへの影響の検証
- 標準案の作成

実施者

- 標準案を作成可能な者

(2) 次世代船舶の供給体制の確立

新燃料の入手・取扱・規制対応会議

役割

- 新燃料船や新燃料エンジンのコミッショニング・試運転に必要な燃料の安定的な輸送手順を確立する
- 具体的には、燃料ターミナルにおける払い出し設備の設置、バンカリング船の確保又は保有、タンクローリーの確保などの各種輸送手段の実現可能性や実現方法を検討する
- 高圧ガス保安法、消防法、港則法をはじめとする規制対応の手順をガイドライン化する

座長

- 未定(中立的で知見を有する学識経験者がよいか、議論を主導する事業者がよいか)

構成員

- 新燃料船の建造を予定している造船所及び新燃料エンジンの製造を予定している舶用品メーカー
- 海運事業者、燃料のサプライヤーなど新燃料のサプライチェーンに関わりを持つ事業者

会議参加者

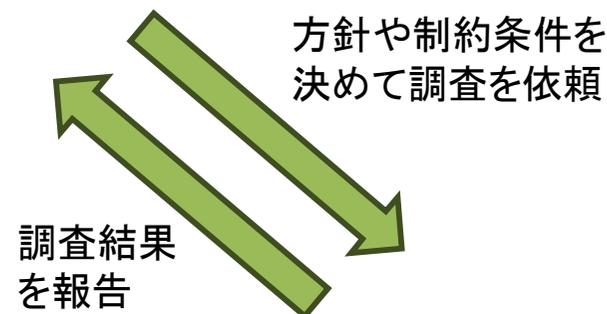
- 燃料の取扱に関する実務・実態を把握している者

事務局

- 国土交通省海事局

スケジュール感

- 2024年夏以降に会議を開始し、1年後までを目途に一定の結論を出すことを目指す
- 時間を要する場合は延長を検討する



規制対応に係る調査

役割

- 高圧ガス保安法、消防法、港則法をはじめとする規制対応の手順を調査し、ガイドライン案を作成する
- ガイドラインの作成に必要な専門家・関係機関等からのヒアリング又は会議を実施する

実施者

- ガイドライン案を作成可能な者

(3) 人材の確保・育成

魅力向上・人材育成会議

役割

- 船舶産業の魅力向上に向けて業界全体で協調して行う取組を検討する
- 船舶産業において必要となる人材育成の方法を具体化する

座長

- 未定(中立的で知見を有する学識経験者がよいか、議論を主導する事業者がよいか)

構成員

- 日本造船工業会、日本中小型造船工業会、日本造船協力事業者団体連合会及び日本船用工業会の会員企業(代表数社)及び事務局

会議参加者

- 採用、待遇、広報、人材育成等に関する実態を把握している者

事務局

- 国土交通省海事局

スケジュール感

- 2024年夏以降に会議を開始し、1年後までを目途に一定の結論を出すことを目指す

報告



魅力発信のためのコンテンツの具体化調査

役割

- ヒアリング・会議等によって船舶産業の魅力発信に有効なコンテンツを検討・具体化する

実施者

- 船舶産業に関する知見及び広報に関する知見を有する者

報告



専門人材の育成に関するガイドライン作成

役割

- 知見を有する企業・団体(LNG燃料船等の建造に必要な人材を育成した事業者、他産業を含めてアンモニアの扱い等に関する専門知識を有する企業・団体、国内外の規制・資格制度に関する知見を有する者)にヒアリングを行い、今後必要となる専門人材(新燃料を取り扱う人材、新燃料タンクの製造や施工管理、新燃料船に必要な溶接を行う人材等)の育成手順・育成方法をガイドライン化する
- 専門人材の育成に必要な設備の貸し借りや事業者間の人的協力(見学・研修)を行いやすくするため、必要な情報(提供可能な設備・人的協力の内容、連絡先、費用、申込手順等)をまとめたカタログを作成する(アンケートを行ってまとめる)

実施者

- 新燃料そのものや新燃料船の建造に関する知見を有する者

船舶産業の変革実現のための検討会



船舶産業の変革実現のための検討会において、定期的に目標や取組のフォローアップを行う

想定される議題

- 2030年に目指すべき目標の達成に向けた状況の確認
- 需要の変動、新燃料船の拡大、人材確保の状況など環境変化の確認
- 船舶産業の変革ロードマップのフォローアップ、必要に応じた軌道修正